

ピースクラブ通信

No.61

発行 社会福祉法人 ピースクラブ
 所在地 〒556-0014 大阪市浪速区大国一丁目十一番一号
 連絡先 TEL 06-66647120077
 FAX 06-66647120087
 Eメール peaceclub@sz.dion.ne.jp
 H.P.L http://www.ab.aunone-net.jp/~peace_c/

活動報告

橋本 雅敏

長谷川健一氏の講演会に行つて

古井 正代

飯館村には、私は2011年4月
 も5月も何回か訪問しまし

た。穏やかな、本当にのど
 かな所でした。その頃はま
 だ皆さん村に住んでいらっ
 しゃつて子供達は、マスクも
 しないで学校に通つていまし
 た。ただ他の地方は、計画
 避難に入るだろうという事
 で、田んぼが放置されて、雑
 草がいっぱい生えていまし
 た。そして、避難指示にあ
 たつて、障がい者の人がお

られるなら、どういう避難計
 画を立てるのかという事を、
 現地の社協に何度も聞きに
 行きました。個人的にはどの
 くらい障がい者の人がいる
 のかは分かりませんでした。

今回、長谷川さんの話を聞
 いて、被曝をするという所
 に国は、住民を帰還させよ
 うとしている事や、何十億
 円の税金を使って、子供や人
 がいけない所に道の駅、学校
 や運動場を作っている事、
 せっかく除染したのに、そ
 こで焼く施設を作り、焼いて
 空気中にばらまいてしまつ
 ている事も分かり、被曝の事
 を考えていない国に対して、

一体何を考えているのか。人
 の命や健康を平気でムシリ
 取つていく政策に腹立たし
 い思いがますますわいてきま
 した。そして、家族をバラ
 バラにされ、今まで大切にし
 てきた仕事もなくされ、子供
 が暮らせる所でない状態に
 され、本当に全て被曝が問題
 なんだと思います。特に
 私達障がい者や老人は、人
 と人のつながりがなければ生
 きてゆけません。

今、福島の方達で老人だけ
 でも故郷に戻ろうとしてい
 る方がいると聞きましたが、
 老人も私達と同じように繋
 がりがなければ生きてゆけな
 いです。その為に介護保険が

出来たのだと思います。私達
 はいろんな人を集めなければ
 生きてゆけません。自分達だ
 けで暮らすのは、どだい無理
 な話です。
 そういう事を老人だけで帰
 ろうとしている人にも、もう
 一度考えて頂きたいと、障
 がい者の立場から強く思い
 ます。



まずこの活動報告の内容は、
 私たち障害者なら誰でも日
 々感じている内容で、真新
 しい情報ではありません。
 しかし私たちの想いを新た
 な支援者たちにどのように伝
 えればいいのか？そのヒント
 になれば幸いです。
 2月24日やまゆり園入所
 者殺傷事件を踏まえて、障
 がい者との共生社会を考え
 るというテーマの講演が兵
 庫医療大学で行われると友
 人から誘いがあった。私は
 昨年ピースクラブ通信で、
 やまゆり園事件について書か
 せてもらったことがある。こ
 れは私の義務だと思ひ参加
 をし、今報告をまとめてい

講師は脳性マヒ者で小児科医、現在東京大学先端科学技術研究センター准教授を務めている熊谷晋一郎氏。熊谷氏の講演は想いを熱く語るものではなく、あくまでも学術的に話を淡々と進めていくものだった。しかし熊谷氏の熱いものは感じられた。内容は障害者はなぜ暴力を受けるのか？ 障害者側から、健常者側からそれぞれ多角的に語られた。私が興味深かった内容は介護を受けている障害者と介護を行って人々との関係性についてだ。関係性が強ければ強いほど暴力は起きやすく外からも見えにくいという点だった。

たとえば親子関係、介護疲れによる暴力、教育または訓練と言う名による暴力、そのリスクは高くなる。一人を抱え込もうとすることで、より暴力は発生しやすいと熊谷氏は語った。このことは障害者に限らない。社会的弱者や、マイノリティと呼ばれる方々にも当てはまることだ。そのリスクを下げる方法として熊谷氏によると、「信頼できる他者に依存すること」と語った。話しは少しづれるかもしれないが、他者に依存できない方は物質に依存しやすい。物質への依存、薬やアルコールなど、つまり依存症になりやすい。これらすることを踏まえて、他者に依存することは決して悪いことではありませんと語った。信頼できる他者への依存、一人で抱え込まないことが、不幸な暴力を未然に防ぐ方法だと私はあらためて感じた。



つまり私のいつものゆる〜い言葉で言うならば「障害者の生活支援をちくいとずつ分けあってみんなで被っちゃえばええやん」となる。支援者が多ければ多いほど、その依存率は分散され低くなり、みんなハッピーに暮らすことができる。

私たち障害者は依存先を開拓していかなければ生きては行けない。たとえばヘルパー事務所など社会的資源を使うことも良いことだ。しかし私たちはピースクラブの一員として金曜日の居酒屋で

あったり、日々のパン販売先で依存先である支援者を探すアンテナをいつも張る必要があると私は思う。

04 今年で戦後72年を迎えます。今日まで日本が戦争をしてこなかったのは、選挙で選ばれた政治家のおかげですか？

聞き手 上村編集員
話し手 黒河内政行

聞き取りイン
タビニュー(後)

選ばれた政治家が頑張ってきたからというよりも、二度と戦争をしてはいけないという人々の思いによって守られてきた憲法9条があるからだと思います。

05 選挙権は日本で暮らすすべての人にありますか？

日本で暮らす、すべての人に選挙権があるべきだと思いますが、現在、選挙権があるのは日本国籍を持つ18歳以上の人たちです。しかし住所や戸籍などがなければ、選挙権を行使することが難しい現状です。

06 今年これからのような選挙がありますか？

国会議員を決める衆議院議員選挙、参議院議員選挙

だけでなく地方議会の議員や道、府、県知事、市長、町長、区長の選挙があります。今も、どこかで選挙が行われているかもしれません。また参議院は任期満了による解散ですが、衆議院は任期満了に関係なく、いつ解散があるかわかりません。今年、衆議院の解散、総選挙があるかもしれないと言われています。また大阪では10月に堺市の市長選挙が予定されています。

07 最後に何か一言

選挙の時以外で政治を身近に感じる機会は、あまりない人が多いかもしれません。しかし駅前やスーパー前

どで演説をしている議員や、立候補を考えている人をもしも見かけた時は、どんな主張をしているのか少し立ち止まって聞いてみるのも、政治を身近に感じる一つの方法だと思えます。ニューレターなどを配っていることもあるので、聞いている時間がないという方は是非、受け取ってみてもいいかもしれません。



与太郎の 与太話

伸ちゃんはいつも自分を相手してほしいのか？シャツを脱ぎ、着せてもらうというちよつと邪魔臭い一方的な方法で安心(コミュニケーション)を得ています。

しかしこの頃、その伸ちゃんの安心が代わりそうな雰囲気です。栄さんが伸ちゃんとコミュニケーションを取ろうと今日も伸ちゃんの横に陣取っております。

栄さんは、奄美出身で以前三線を奏で、唄を歌うことをライフスタイルにしたそうです。最近メンバーさんとして電動車椅子で通われています。

やはり感性が違うのでしょうか

か、栄さんは伸ちゃんに毎日寄り添うなかで、伸ちゃんと目を合わせ、伸ちゃんと手を繋ぎ、伸ちゃんと同じ声を発して、伸ちゃんの心を開いて行きました。

伸ちゃんはこの日もシャツを脱ごうとしています。

栄さんはやさしく「伸ちゃん脱いだらアカンで」と諭すと、伸ちゃんは脱ぐのを辞めました。

伸ちゃん、もうシャツ脱がなくていいね。ただ脱いじゃう伸ちゃんなのだ。



春さん便り

大西 洋子

「月夜釜合戦」みてきまし
た！ 春さんの炊き出しの
仲間で釜の不正と斗ってい
る佐藤零郎さん達若者グル
ープが、心を込めてつくっ
た映画です。知ってる人がい
っぱい出て、それもうれしか
った。昔みた「泥の河」が私
の小さい時の原風景だった
んだけど、釜の原風景が見事
に描かれていました。古きよ
き時代ではなくて、釜の良さ
というか自由さとか、いろん
な価値観を認めあう本来の人
間のあり方は、今の勢いで
解体しようとしても、つぶれ

ようがない。したたかに生き
残るのではないか、そんな予
感がしました。

「映画で腹はふくれれないが、
敵への憎悪をかきたてること
が出来る」、その名文句で殺
された佐藤監督（偶然同じ
名前だね）が「やられたら、
やりかえせ」という山谷の映
画をつくったんだけど、「月
夜釜合戦」は、憎悪ではなく
て「愛」—敵をも愛する力
をいっぱい感じました。

ピースクラブで上映会を
して、パーティーもして、楽
しい一日を早々に企画しま
す。おもしろかった！。



遊覧船で三方五湖



なばなの里で後光を放つ



大量生産 花見パーベキニュー



姫路の梅園散策



ニコレオマ思い出コレクション



おしとやかな風景

● ピースクラブ 写真館 ●